

特別調査「中小企業経営者と「人生100年時代」

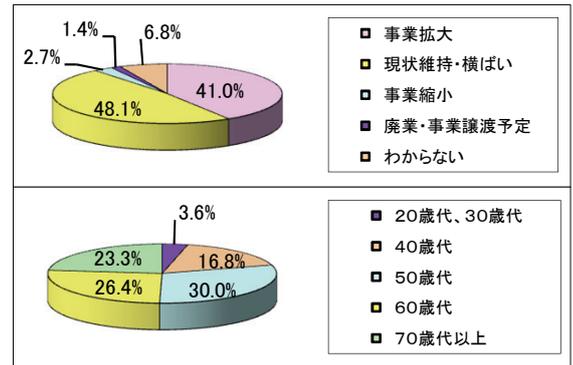
問1 社長（代表者）は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していらっしゃいますか。1～5の中からお答えください。併せて、現在の社長（代表者）の年齢階層を下記の6～0の中から1つ選んでお答え下さい。

《10年先の自社の経営展望》

1. 事業拡大
2. 現状維持・横ばい
3. 事業縮小
4. 廃業・事業譲渡予定
5. わからない

《社長（代表者）の年齢階層》

6. 20歳代、30歳代
7. 40歳代
8. 50歳代
9. 60歳代
0. 70歳代以上



今後の10年先の自社の経営を社長（代表者）はどのように展望しているかについて、最も多い回答は「現状維持・横ばい」48.1%、次いで「事業拡大」41.0%という結果になりました。また、現在の社長（代表者）の年齢階層について、最も多い回答は「50歳代」30.0%、次いで「60歳代」26.4%という結果になりました。

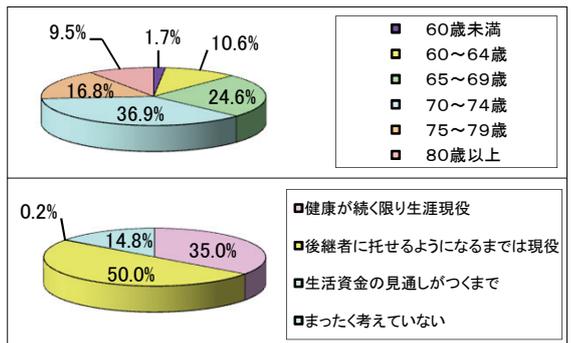
問2 「人生100年時代」という言葉が生まれるなど、健康寿命の長期化に社会的関心が高まる中で、今後、経営者が現役で活躍する年齢は高まっていくものと考えられます。そのような中、社長（代表者）は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。具体的な年齢の目途がある方は1～6の中から、そうでない方は7～0の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

《具体的な年齢の目途がある》

1. 60歳未満
2. 60～64歳
3. 65～69歳
4. 70～74歳
5. 75～79歳
6. 80歳以上

《具体的な年齢の目途はない》

7. 健康が続く限り生涯現役
8. 後継者に托せるようになるまでは現役
9. 生活資金の見通しがつくまでは現役
0. まったく考えていない



健康寿命の長期化に社会的関心が高まる中で、社長（代表者）は経営者として、いつ頃まで現役を続けたいと考えているかについて、具体的な年齢の目途がある場合の最も多い回答は「70～74歳」36.9%、次いで「65～69歳」24.6%という結果になりました。また、具体的な年齢の目途がない場合の最も多い回答は「後継者に托せるようになるまでは現役」50.0%、次いで「健康が続く限り生涯現役」35.0%という結果になりました。

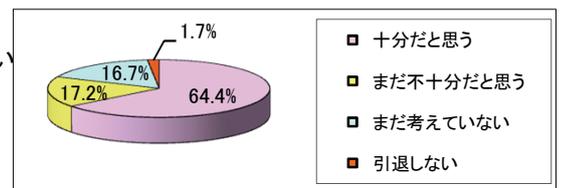
問3 社長（代表者）は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

《十分だと思う》

1. 貯蓄・資産がすでに十分にある
2. 会社からの退職金が見込める
3. 年金・保険が見込める
4. なんとかなる
9. まだ考えていない

《まだ不十分だと思う》

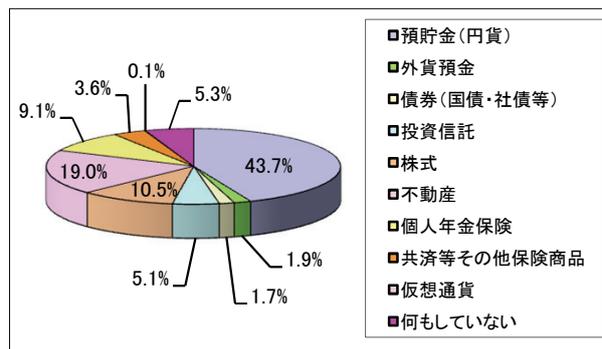
5. 貯蓄・資産が十分ではない
6. 会社からの退職金が見込めない
7. 年金・保険が見込めない
8. 何となく不安である
0. 引退しない



経営者を引退した後の生活資金について社長（代表者）はどのように考えているか、最も多い回答は「十分だと思う」64.4%、次いで「まだ不十分だと思う」17.2%という結果になりました。経営者を引退した後の生活資金は『十分だと思う』場合の最も多い回答は「貯蓄・資産がすでに十分にある」53.5%、次いで「なんとかなる」22.3%、『まだ不十分だと思う』場合の最も多い回答は「貯蓄・資産が十分ではない」65.7%、次いで「何となく不安である」27.4%という結果になりました。

問4 「人生100年時代」を見据えて、社長（代表者）は、個人としてどのような資産管理・運用をしていらっしゃいますか。下記の1～0の中から主なものについて3つ以内で選んでお答えください。

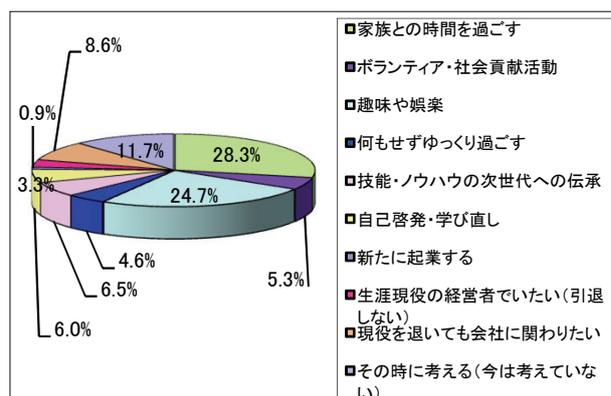
1. 預貯金（円貨）
2. 外貨預金
3. 債権（国債・社債等）
4. 投資信託
5. 株式
6. 不動産
7. 個人年金保険
8. 共済等その他保険商品
9. 仮想通貨
0. 何もしていない



「人生100年時代」を見据えて、社長（代表者）が個人としてどのような資産管理・運用をしているかについて、最も多い回答は「預貯金（円貨）」43.7%、次いで「不動産」19.0%、続いて「株式」10.5%という結果になりました。

問5 「人生100年時代」を見据えて、社長（代表者）は、現役を退いた後の生活イメージについて、描いているものはありますか。下記の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。

1. 家族との時間を過ごす
2. ボランティア・社会貢献活動
3. 趣味や娯楽
4. 何もせずゆっくり過ごす
5. 技能・ノウハウの次世代への伝承
6. 自己啓発・学び直し
7. 新たに起業する
8. 生涯現役の経営者でいたい（引退しない）
9. 現役を退いても会社に関わりたい
0. そのときに考える（今は考えていない）



「人生100年時代」を見据えて、社長（代表者）が描いている現役を退いた後の生活イメージについて、最も多い回答は「家族との時間を過ごす」28.3%、次いで「趣味や娯楽」24.7%、続いて「そのときに考える（今は考えていない）」11.7%という結果になりました。